



農林業振興公社では駆除したイノシシの皮を活用して雑貨などを製作 (マスクホルダー考案者の齋藤さんは前列左から2番目)

2. 企業の挑戦 Made in DATE

「マスク不足を解消したい。」本業で苦戦する中で、多くの企業が地域のために立ち上がった。

「イノシシ革で役に立ちたい」

伊達市農林業振興公社
(霊山地域)



肌に触れても痛くならない柔らかさが特徴。
【お問合せ】農林業振興公社
☎ 564-2301

3月以降、イベントが中止になり、できることはないか模索していた齋藤知世さん。イノシシ革でマスクホルダーを作れば、イノシシならではの柔らかさと通気性が活かせるかもしれない、とひらめきました。職場の仲間にアイデアを話した翌日には道の駅で販売開始。連日完売の人気ぶりです。発売開始2週間で300個を売り上げました。県外からも注文が入り大忙しですが、チームで乗り切っています。齋藤さんは「イノシシだから作れた商品だと思いたい」と思っています。イノシシの命を活かしてよかったです」と笑顔で語りました。

「マスク生活が重苦しくないように」

株式会社スリーランナー
(伊達地域)



メッシュ生地で軽く、通気性の良さが特徴。
【お問合せ】(株)スリーランナー
東京本社 ☎03-6365-2840



サポーターを製造販売する(株)スリーランナー福島工場

「地元向けのマスクを作ってもらえないか。」地域の声を受けて、地元向けのマスク製造を始めました。本業のサポーターを輸出する中で、インドの 대기汚染を目の当たりにし、マスク製造を始めた過去がありました。製品化まで試行錯誤を重ねた苦労が今回につながったといえます。まず日本人に合う形に改良しました。布マスクを使う人が、ガーゼなどのズレに苦勞している姿を見て、マスクの両端にポケットを付け、挿入物が安定するように工夫しました。社長の北野文一さんは「長く続くであろう感染予防対策で、マスクの装着が重苦しいものにならないよう機能にこだわりました。お役に立てれば幸いです」と話していました。

*check!! 伊達市の誇り Made in DATE

個性豊かな伊達産マスクは他にもあります。まちなかで探してみてください!



父の伸一さんがパン工房を営んでいるため、普段からお菓子やパンを家族で作るといって高野さん一家。4姉妹が交代でクリームを立て、生地を焼き、あんこやジャムを添えてオリジナルのどら焼きを作りました。休校で学習時間のメリハリをつけるのが難しかったり、体力作りの十分に行えないなどの課題はありますが、「散歩したり、山菜を採ったり、子どもたちと過ごす時間は増えましたね。」と伸一さん。「家事分担を決めたら家のことをやってくれるようになりました。」と話すのは母の奈津子さん。倅さんはお風呂、凛さんは米研ぎ、奏さんは食洗器、友さんは玄關掃除の担当です。「仕事終わりに『帰るよ』と電話すると、家の中がきれいになっていきます。」と笑います。いつもと違う時間をアイディアと笑顔で乗り切っていました。



1. おうち時間、 どう過ごす?

子育て家庭にとって「休校」は苦勞が多い反面、いい変化が生まれるきっかけにも。

にしむら 西村さんのおうち時間

ステイ駐車場の外遊び。
夫はコロナ禁煙。悪いことばかりじゃない。

■ 家族構成
父・和哉さん 母・沙織さん
長男・幸志朗さん (小3)
長女・実千花さん (小1)
次男・奏汰朗さん (年少)



「虫ちゆか
まえた!」
取材に伺う
と、次男の
奏汰朗くん
が駐車場でお兄ちゃんの幸志朗
くんと外遊びの真つ最中。「ゴー
ルデンウィークは駐車場にテン
トを張ってご飯を食べるなど、
『ステイ駐車場』で遊びました」
と母の沙織さん。子どもが思い
切り走れる近所の堤防の散歩が
新たな日課になりました。

「小学生2人の宿題が大変です。実千花は入学したばかりで学習の習慣が身につけていなくて。夫が長男、私が長女を見て何とかこなしました。」休校の苦勞は多い様子ですが、現状を穏やかに受け止めていました。「コロナをきっかけに家族みんなで健康のことを考えて、夫が禁煙を始めました。世の中が変わるときだと思うと、どう変わるんだろうという期待もありますし、悪いことばかりではないと感じています。」



4. がんばる飲食店を応援!

飲食店を応援しようと立ち上がる人や企業が現れた。自分じゃない誰かのために、それが大きな輪になるように。



飲食店のおいしい料理をビジュアル的に表現したい。



(有) 光陽スタジオ
ばば ひろたか
馬場 裕隆 さん

保原町在住。保原町商工会サービス部会長、伊達市宣伝部長などを務める。ボランティアでテイクアウトメニューを撮影し、SNSで発信する「伊達市飲食店テイクアウトメニュー撮影応援プロジェクト」の活動を行う。

始めたきっかけは何ですか
いつもお世話になっている飲食店の皆さんの厳しい状況を聞いて、私がやらないといけないと思いました。
市内の飲食店はどこもおいしい。その料理をもっとビジュアル的に表現できたら、消費者の方々は食べてみようと思ってくれるのではないかと思います。おこがましいですが、私ならそういう写真が撮れると、覚悟を決めてやることにしました。
気をつけていることはありますか
ソーシャルディスタンスを確保すること、できるだけ最小限の人員で短時間の撮影で終わるように気をつけています。

プロジェクトを通してどうなっ
てほしいですか
まずは写真を通して広く知ってほしいと思います。そしてビジュアルをよくすることで飲食店のテイクアウトの利用につながればうれしいです。
ゆくゆくは、伊達市の食のサイトを立ち上げ、市内の飲食店に行くきっかけになるお手伝いができればと思っています。ビジュアルのレベルがあがれば、それに見合ったサービスにもつながっていくと思います。美味しいお店が市民の自慢になりますし、食を通して市民が繋がれば、より良い関係になっていくのではないかと思います。

情報更新中!

食べて応援! テイクアウト情報

テイクアウトやデリバリーを頼めるお店の情報を探せるサイトです。プロの味をご家庭で。ランチやディナーにご活用ください。

掲載依頼は管理者にご連絡を!

伊達市飲食店テイクアウトメニュー撮影応援プロジェクト



(有) 光陽スタジオ
☎ 575-3480

伊達市のテイクアウトデリバリー情報



伊達市観光物産交流協会
☎ 529-7779

伊達日和 元祖! 伊達のお家ごはん



株式会社 CIA
☎ 577-0075

3. がんばれ! 伊達市の飲食店

県の要請を受けて休業や時短営業を行っている市内の飲食店。テイクアウトを始めた店もある。再開に向けて努力しながら、いつもの日を待ちわびている。



「店が始まったら飲みに来るね」お客さんの声に励まされています。



伊達社交飲食業組合
こわた よしひと
組合長 木幡 睦人 さん

保原町在住。保原町商業協働組合副理事長、伊達市観光物産交流協会副会長などを務める。市内を中心に飲食店やカラオケ店など複数の店舗を経営する。

現在の状況を教えてください
2月初めからキャンセルが始まり、3月に一気に加速しました。休業要請で4月21日以降は店を閉めています。4月の売上は前年比8割減ですが、光熱水費、家賃、カラオケのリース料など固定費がいつもどおりにかかります。
市内飲食店の状況はどうですか
どこも厳しい状態です。社交飲食業組合員の中には、4月頭に閉めた店もあります。休業補償が出るまでやっていけるか、とにかく日銭が心配だという声を聞きます。今をしのいで店を続けるのが正解なのか悩む人もいます。借り入れが増えるより

早く閉めた方が賢明ではと考えるからです。
困難への対策はありますか
4月からテイクアウトを始めました。期限付酒類小売免許でビール宅配もしています。売上の補てんは難しいですが、テイクアウトでおいしかったとなれば、店を再開したときに来店してくれるきっかけになると思います。
頑張る原動力は何ですか
テイクアウトを買いに来てくれた人が「大丈夫になったら飲みに来るからね」と声をかけてくれたり、ビール宅配で「うまい!」と言ってくれるお客さんの顔を見ると、早くこの笑顔

をお店で見たいと思います。写真家の馬場さんが料理の写真を撮ってくれたこともうれしかった。協力してくれる人がいるから、やっぱり頑張らなくちゃと思います。
再開への期待はありますか
座席の間隔を空けたり、消毒を徹底したり、対策はすでに考えています。シーンとした店内でテイクアウトを作るのは寂しい。宴会で店の中がガヤガヤしているのが懐かしいです。
苦しいけれど苦しいほど、乗り越えたときに喜びが跳ね返ってくると思います。今は、お客さんを迎えられるまでもう少し頑張ります。

※営業休止等の情報は取材時点(5月12日現在)のものです。

